

シクラメンの知らない世界 ～成長の物語～

栽培専攻 シクラメン班

I 目的

今までは、5号鉢のみを栽培していたが、今年度は3種類の大きさの鉢を準備してシクラメンを栽培することにした。テーマを設定した理由は、鉢の大きさによって用途が異なるためその違いについて知ること、たくさんの人に郡上高校のシクラメンに興味を持ってもらい、楽しんでほしいこと、消費者から贈答用の花が欲しいという要望があり、その要望に応えたいと思ったからである。鉢の大きさは、今まで栽培していた5号鉢に加えて、一回り小さな4号鉢と一回り大きな6号鉢で栽培することにした。また、生育マニュアルを作成するために、水、肥料、葉組みを研究内容としてシクラメンの調査を行った。

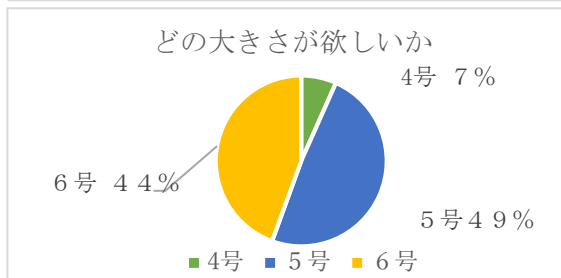
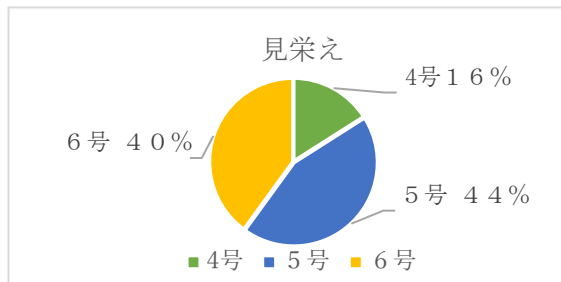
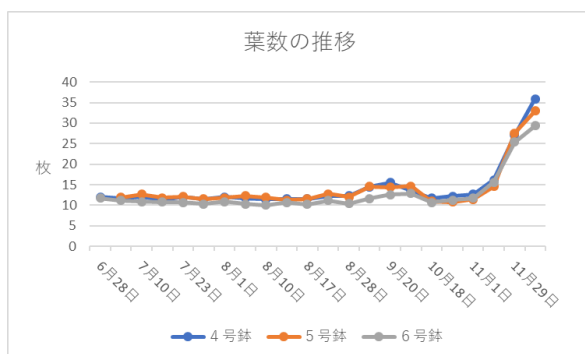
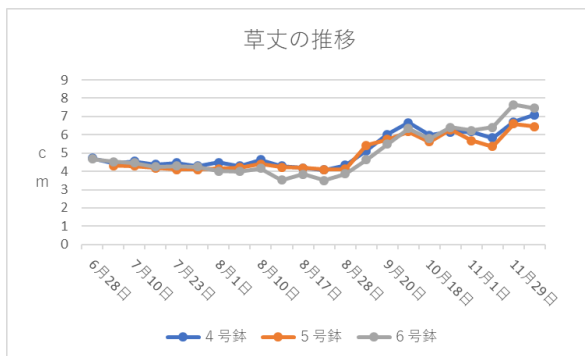
II 材料及び方法

- ・鉢（4号5号6号）
- ・肥料
- ・シクラメン苗

【鉢の大きさによる違い】

鉢の大きさ	4号	5号	6号
土の量	164g	267g	552g
水の量	122ml	198ml	285ml
肥料の量	1個	1個	2個
吸水率	74%	74%	52%

III 結果



草丈については、生育を始めてから大きな変化は見られなく、同じ推移をしていた。葉数については、10月頃まであまり大きな変化が見られなかったが、11月から急激に増加している。4号鉢の葉数が最も多かった。

見栄えと欲しい大きさについては、ともに5号鉢が最も多く、次いで6号鉢、4号鉢の順だった。

IV 考察

草丈については、同じ推移をしていることから、十分に光が当たっていたことと葉組みが適正であったことから、シクラメンが徒長していないことが考えられる。

葉数については、鉢が小さい物ほど葉数が多くなるという結果だった。葉数が多いほど、花数も増えることから、本校で今まで栽培している5号鉢を基準に施肥を行ったが、4号鉢で与えた量が適正であったのではないかと考えられる。4号鉢と5号鉢は給水率が同じだったことに対して、6号鉢だけ給水率が低いことから、11月以降に与えた液肥を吸水できている量が少ないことで、生育スピードを低下させたことに繋がっていると考えられる。

アンケートの結果から5号鉢と6号鉢が消費者に求められているという結果だった。このことから、本校で購入する人は、大きい鉢のシクラメンを求める傾向があることが分かった。

V 今後の課題

今回の研究では、4号鉢の施肥量が適正ということはわかったが、5号鉢と6号鉢については見直す必要がある。6号鉢については、吸水率も違うことから、液肥の回数の検討や置き肥への切り替えなど更なる研究が必要である。

今回の栽培した場所は、夏場に寒冷紗をかけても日陰にならなかったため、葉焼けが確認できた。そのため、葉焼けの対策も必要である。